

事業コード	0020503	政策コード	03	政策名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略							
事業名	優良和牛生産基盤強化対策事業	施策コード	02	施策名	複合型生産構造への転換の加速化							
		指標コード	05	施策目標(指標)名	秋田牛や比内地鶏など秋田ブランドによる畜産振興							
部局名	農林水産部	課室名	畜産振興課	班名	生産振興班	(tel)	1807	担当課長名	畠山英男	担当者名	藤田歩	
評価対象事業の内容											事業年度	令和02年度 ~ 令和02年度
1 - 1 . 事業実施の背景（施策目標の達成のためになぜこの事業が必要であったのか） 新型コロナウイルス感染症拡大により枝肉や子牛の価格が下落し、収益力が低下している。肉用牛経営体に対し、高品質な受精卵や優良子牛の供給体制を強化することにより、所得向上を図る必要がある。				5 . 前回評価における指摘事項等								
				指摘事項								
1 - 2 . 外部環境の変化及び事業推進上又は完了後に明らかになった問題点 新型コロナウイルス感染症の拡大により枝肉や子牛の価格が下落し、肉用牛経営体の収益力が低下している中、所得の向上を図るには、高品質な受精卵の利用による農家の生産性の向上や優良子牛の生産体制の強化が必要である。				指摘事項への対応								
2 . 住民満足度の状況(事業終了後に把握したもの) 満足度を把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民（時期： R03 年 03 月） 満足度の把握方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法（具体的に） 満足度の状況 血統が良く、受胎率の高い受精卵の安定供給が可能になることは、生産性の向上が図られるので、所得の向上が期待できる。また、良質粗飼料を給与し、高資質に育成された子牛の供給が増えることは、高品質な「秋田牛」生産に繋がるので、所得の向上が期待できる。				6 . 事業の内容 事業概要及び推進状況 新型コロナウイルス感染症の拡大により枝肉や子牛の価格が下落し、収益力が低下している肉用牛経営に対し、高品質受精卵や優良子牛の供給体制を強化することにより、肉用牛経営体の所得の回復に資する。 ア 高品質な受精卵の供給体制整備 ・ 整備内容：蛍光顕微鏡、受精卵凍結器、マイクロマニピュレーター、ビタミンA簡易測定装置 イ 優良子牛の供給体制強化 ・ 繁殖雌牛導入 8 頭 ・ 飼料生産機械等 2 台（トラクター、堆肥散布機） ・ 施設整備等 3 件（哺乳ロボット、スタンション設置、牛房柵補強工事） ・ 運搬車両整備 3 台（家畜運搬車、堆肥運搬車、乾草運搬車）								
				事業費等							単位（千円）	
3 . 事業目的（どういう状態にしたかったのか） 高品質な受精卵の供給を増加することにより、生産性の向上を図る。併せて、良質粗飼料を利用した高資質な子牛の供給体制を強化することにより、高品質な秋田牛ブランドの生産を拡大し、農家の所得の向上を図る。				内 訳		当初計画事業費		最終事業費				
				高品質な受精卵の供給体制整備		15,988		14,972				
4 . 目的達成のための方法 事業の実施主体 秋田県、公益社団法人秋田県農業公社 事業の対象者・団体 肉用牛経営体 達成のための手段 ・ 高品質な受精卵の効率的な生産と県内農家への安定供給を図るための機器を整備。 ・ 県内農家への供給する優良子牛の増頭を図るため、繁殖雌牛の導入や機械・施設等の整備に対し支援。				優良子牛の供給体制強化		20,235		19,255				
						0		0				
						0		0				
						0		0				
				事業費計		36,223		34,227				
				財源内訳	国 庫 補 助 金		36,223		34,227			
県 債		0			0							
そ の 他		0			0							
一 般 財 源		0			0							
当初計画及び最終の事業費比較												
						最終事業費 / 当初計画事業費 =(0.94)						

7. 事業の効果及び課題の改善状況 ・高品質な受精卵の供給体制整備 県内農家の生産性向上を図るため、高品質受精卵の効率的な生産と、安定供給の基盤が整った。 ・優良子牛の供給体制強化 県内農家へ供給する優良子牛の増頭を図るため、粗飼料の増産及び子牛の生産体制が確立された。										所管課の評価 評価結果	
有効性の観点	住民満足度の状況 ● a ○ b ○ c 【b又はcの場合の分析】									● A ○ B ○ C	
	事業の効果 適用の可否 ● 可 ○ 不可 ● a 達成率100%以上 ○ b 達成率80%以上100%未満 ○ c 達成率80%未満 【b又はcの場合の理由】										
8. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み											
指標	指標名	畜産試験場の受精卵採取個数（正常卵）							指標の種類		
	指標式	畜産試験場の受精卵採取個数（正常卵）							● 成果指標 ○ 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 ○ 該当 ● 非該当										
	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	02年度	全体		
	目標a	0	0	0	0	0	0	195			
	実績b	0	0	0	0	0	0	238			
	b / a							122.1%	0%		
	データ等の出典	実施状況調査									
	把握する時期 ○ 当該年度中 月 ● 翌年度 05月 ○ 翌々年度 月										
指標	指標名	農業公社の子牛販売頭数							指標の種類		
	指標式	農業公社の子牛販売頭数							● 成果指標 ○ 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 ○ 該当 ● 非該当										
	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	02年度	全体		
	目標a	0	0	0	0	0	0	6			
	実績b	0	0	0	0	0	0	8			
	b / a							133.3%	0%		
	データ等の出典	事業実施状況報告									
	把握する時期 ○ 当該年度中 月 ● 翌年度 05月 ○ 翌々年度 月										
指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法											
指標を設定することが出来なかった理由											
成果（見込まれる効果）										政策評価委員会意見	

終了事業事後評価判定点検表

(様式5 - 1)

(1) 各評価項目の判定基準

観 点	評価項目	判定基準	配点	1次	2次	評価結果	
ア有効性	一 住民満足度等の状況	a 住民満足度等を的確に把握しており、満足度も高い	2	2		A:有効性は高い (4点) B:有効性はある (1～3点) C:有効性は低い (0点)	
		b 住民満足度等を把握しているが、手法が的確でない又は満足度が高くない	1				
		c 住民満足度等を把握していない	0				
	二 事業目的の達成状況	a 目標値に対する達成率が全て100%以上	2	2		1次 2次	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 目標値に対する達成率のいずれかが80%未満	0				
	計		4	4		A	
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	a 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値(注)が全て1.0以上	2	1		A:効率性は高い (2点) B:効率性はある (1点) C:効率性は低い (0点)	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値のいずれかが0.8未満	0			1次 2次	
	計		2	1		B	

(注) 事業経済性の算定式

$$\left(\frac{\text{事業終了後の効果} / \text{最終事業費}}{\text{当初計画時の効果} / \text{当初計画時事業費}} \right)$$

上式で、効果とは事業の効果を把握するために設定した指標の実績値をいう。なお累積の実績値を設定している場合は、前年度からの差し引きによる「単年度増加分」を実績値として用います。

(2) 総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	B	
B (概ね妥当である)	総合評価結果が「A」又は「C」以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		